

上野原縄文の森を活用する際に、見学メニュー及び体験メニューを組み合わせご利用ください。

なお、所用時間はおよその目安です。

< 見学メニュー >

< 展示館内 >

(1) 10,600年前の世界	①タイムロード ②復元集落ジオラマ ③10,600年前の生活（ジオラマ）	5分
(2) 8,600年前の世界	①国指定重要文化財 ②調理施設（集石）③ミラービジョン（まつりの様子）	10分
(3) 地層パネル	①約29,000年前までの地層 ②火山灰は語る（映像）	10分
(4) 考古学ギャラリー	①南島の考古学 ②河口貞徳と鹿児島県の考古学 ③縄文人の植物利用	10分
(5) 南の縄文人の暮らし	①縄文人の「食」に関する道具等の展示 ②縄文クッキングの映像	5分
(6) 考古学サイエンス	①顕微鏡（花粉分析） ②マイクروسコープ（土器片、黒曜石）	5分
(7) 南の縄文文化	約13,000年続いた鹿児島県の縄文時代	10分
(8) 縄文ワンダーランド	①記念撮影コーナー ②縄文土器の模様つけ体験 ③アングイン編み体験 ④土器パズル	10分
(9) 縄文シアター	縄文時代のムラの生活の様子を劇画風に紹介	20分
(10) 展望所	①復元集落の様子 ②霧島連山と桜島 ③シラス台地の様子	10分

< 屋外展示 >

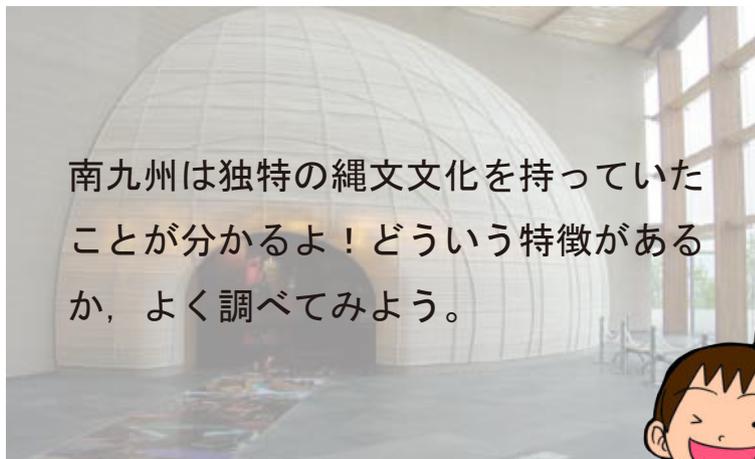
(A) 復元集落	①竪穴住居 ②連穴土坑 ③集石	10分
(B) 遺跡保存館	発掘当時の約10,600年前の竪穴住居跡等	10分
(C) 地層観察館	約29,000年前までの上野原台地の地層	10分
(D) 国指定史跡		

< その他 >

(E) リクレーション	①祭りの広場 ②アスレチック	
(F) 自然観察	①落葉広葉樹や照葉樹の森 ②水辺の植物 ③草原の草花 ④園内の昆虫	

常設展示の案内 1

和紙ドームをめぐり、縄文の世界へ



南九州は独特の縄文文化を持っていたことが分かるよ！ どのような特徴があるか、よく調べてみよう。



10,600年前の世界へ

現在の東北地方と同じくらいの平均気温でした。

どんな生活をして
いたのかな？



土器の形やもようを
くらべてみよう！

10,600年前の土器とは？

南九州の土器は、縄目の文様を付けるより、貝殻で文様をつけている土器がほとんどです。

また、四角い土器は、南九州にだけ見られる独特の形の土器です。



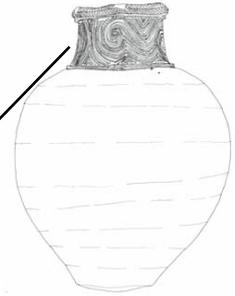
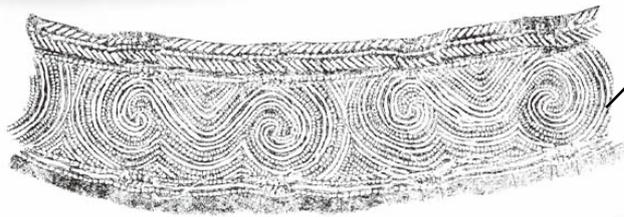
常設展示の案内 2

8. 600年前の世界へ

10, 600年前のムラより南東へ約1 km離れたところでは、大量の土器や石器が発見され、767点が国の重要文化財となりました。



土器の形やもようについて、よく観察してみよう！



南の縄文文化

鹿児島県の縄文時代の土器や石器を中心に様々な資料を展示しています。



地層にはいろんな年代や沢山の火山が噴火した時の火山灰がいくつもかさなっているよ



縄文人はどんな食べ物を食べていたのかな？
縄文料理のコーナーで調べてみよう。



見学エリアの案内

10. 600年前の住居

10, 600年前の竪穴住居の跡を発掘当時のままで見学することができます。
大きさを調べてみよう！



遺跡保存館

住居の形や大きさなど、観察してみよう！

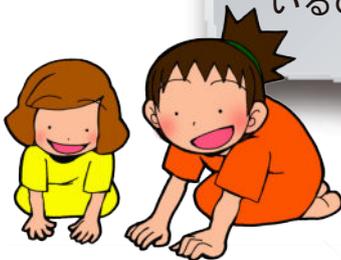


復元集落

復元された住居は中に入ることができるよ。
実際に入ってみてその大きさや形を体験してみよう！



地面の下はどうなっているのかな？



約29,000年前から縄文時代にかけて降り積もった火山灰などの地層が見られます。地面の下に眠る台地の歴史を感じましょう。



地層観察館